



ぴーす・あけび

～支援プログラム～



ぴーす・あけびでは、5領域に基づく支援プログラムで活動します。
5領域はそれぞれが独立しているのではなく、相互に関連したり重なり合ったりしています。いろんな経験を通じて子どもたちの成長のお手伝いをします。



認知・行動

- ・はじまりの会やおわりの会を行うことで時間の流れや見通しをもって活動ができるように支援します。
- ・日常生活や遊びの中で物の形や色、音や重さなど変化する様子を感じられるように活動をします。

運動・感覚

- ・見て・聞いて・触って……。遊びの中から様々な身体の感覚や感触を刺激し、運動機能・バランス感覚・力の強弱・距離感などの発達を促します。
- ・ひとり一人の状態にあわせて姿勢保持や上肢・下肢の関節の拘縮や変形の予防と筋力の維持を図ります。

健康・生活

- ・バイタルサインの確認します
- ・子どもたちのサインから心身の異変を気づけるようにきめ細やかな観察を行います。
- ・食事や睡眠、排せつや着替えなど基本的な生活習慣をつくり、必要な生活リズムを身に着けられるように支援します。

人間関係・社会性

- ・子どもたちが安心して過ごす中で、自分らしさを表現できるように支援します。その中でお友だちを意識して活動できる環境を作っていきます。
- ・遊びを通じて順番を守る・譲る、応援したり、共感したりすることの楽しさを感じられるように支援します。

言語・コミュニケーション

- ・言語コミュニケーションだけでなく、表情や身振り、各種の機器を使ってコミュニケーションが図れるように支援します。また、言葉でのコミュニケーションが難しい子どもたちには自分なりの表現の方法で伝えようとする力を身に付けられるよう支援します。

